

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年10月24日

1. 活動テーマ

<テーマ>

2歳児…葉っぱの色をしてみよう

<テーマ設定理由>

外遊びをしている時に落ちている葉っぱを拾って、「これは黄色」「(クワスの帽子)これと一緒に」と被っている黄色の帽子と照らし合わせている子どもの姿があり、色に注目してみた

2. 活動スケジュール

- ・近隣の公園へ行き、様々な色の葉を見つける。
- ・茶色、オレンジ、黄色、緑の画用紙を用意する。
- ・落ち葉と同じ色の画用紙に葉をのせて色の違いを見ていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・黄色、茶色、オレンジ、緑色の画用紙
- ・セロテープ

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・保育士が4色の画用紙を見せて公園に落ちている葉の色に興味をもてるようにする
- ・近隣の公園で葉っぱを探す
- ・落ちている葉を拾って「これは黄色」「茶色」と画用紙の色と照らし合わせる
- ・葉っぱだけではなく、木の実や草にも興味をもつ
- ・葉の色にもたくさんの色があることに気づく子どももいる

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



- ・保育士が持つ葉を見て「茶色」と言う。子どもが葉を茶色の画用紙へ運び色を照らし合わせる。
- ・公園内を散策し、赤色やオレンジ、茶色などの色の葉を手を持ち、保育士に見せる。拾うだけで満足をする子どももいる。
- ・保育士が子どもが拾った葉に対して「何色かな」と声かけをすると自分で葉を画用紙の上に置く。子どもによって葉の色のとらえ方は様々で茶色の落ち葉をオレンジ又は茶色の画用紙に置く子どもがいる。
- ・草むらに入った子どもの衣服にたくさん草がついていた調べてみると「ヌスビトハギ」という草の種類で面白い草にも触れることができた。
- ・ちぎれている葉も子どもにとっては一つの葉で自分の見つけた葉を「見て」と見せていた。
- ・保育士が拾った葉を「見せて」と手に取り、画用紙に貼る。
- ・黄色の画用紙に緑色の葉っぱを並べる子どももいた。黄色の画用紙に貼ったことで色がより映えていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・少しずつ色づく秋の気候の中で子どもが落ち葉の色の違いに興味を持っていたことに注目をし、今回の活動に繋がった。子ども達は公園の開放的な空間で様々な自然物に興味を持っていた。葉だけではなく、枝や草を持っている子どももいたので受け止めつつ葉について探求をできるように関わっていくようにした。拾った落ち葉を色画用紙に並べた様子を見てみると茶色の葉でもオレンジの紙や茶色、黄色の紙に並べるなど子どもによって色のとらえ方は様々な様子が伺えた。
- ・私が活動に取り入れる葉はちぎれや変色がなく、形が整った葉を選ぶ傾向にあるが、子ども達は変色をしていたり、ちぎれている葉も抵抗なく選んで保育士に嬉しそうに見せていた。子どもは偏見の目を持たずに自分の直感で葉を選んでいるのだと感じた。茶色、黄色が半分ずつ混ざった葉を茶色の紙にのせたり、緑、茶色、赤色が混ざった葉を黄色の紙にのせていて子どもの色の見方も一人ひとり違うのだと思った。
- ・赤色の葉を持ってきて「赤」と教えてくれた時に赤色の紙を用意していなかった為、次回は色画用紙の色も増やして、子ども達と探求をしていきたい。